

島根県の地震

令和6（2024）年7月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

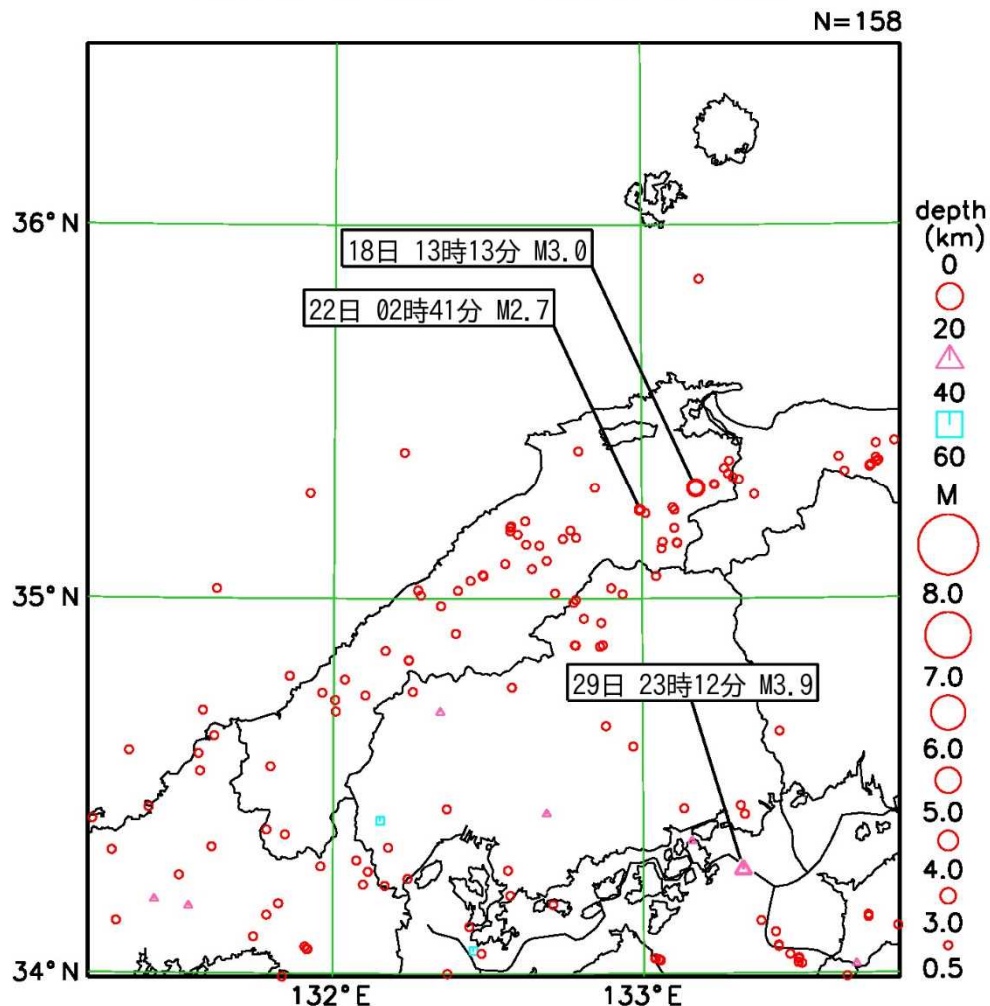
・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2024年7月1日～31日

2024 07 01 00:00 -- 2024 07 31 24:00



[概況]

今期間、M0.5以上を観測した地震は158回（6月は144回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、3回でした。

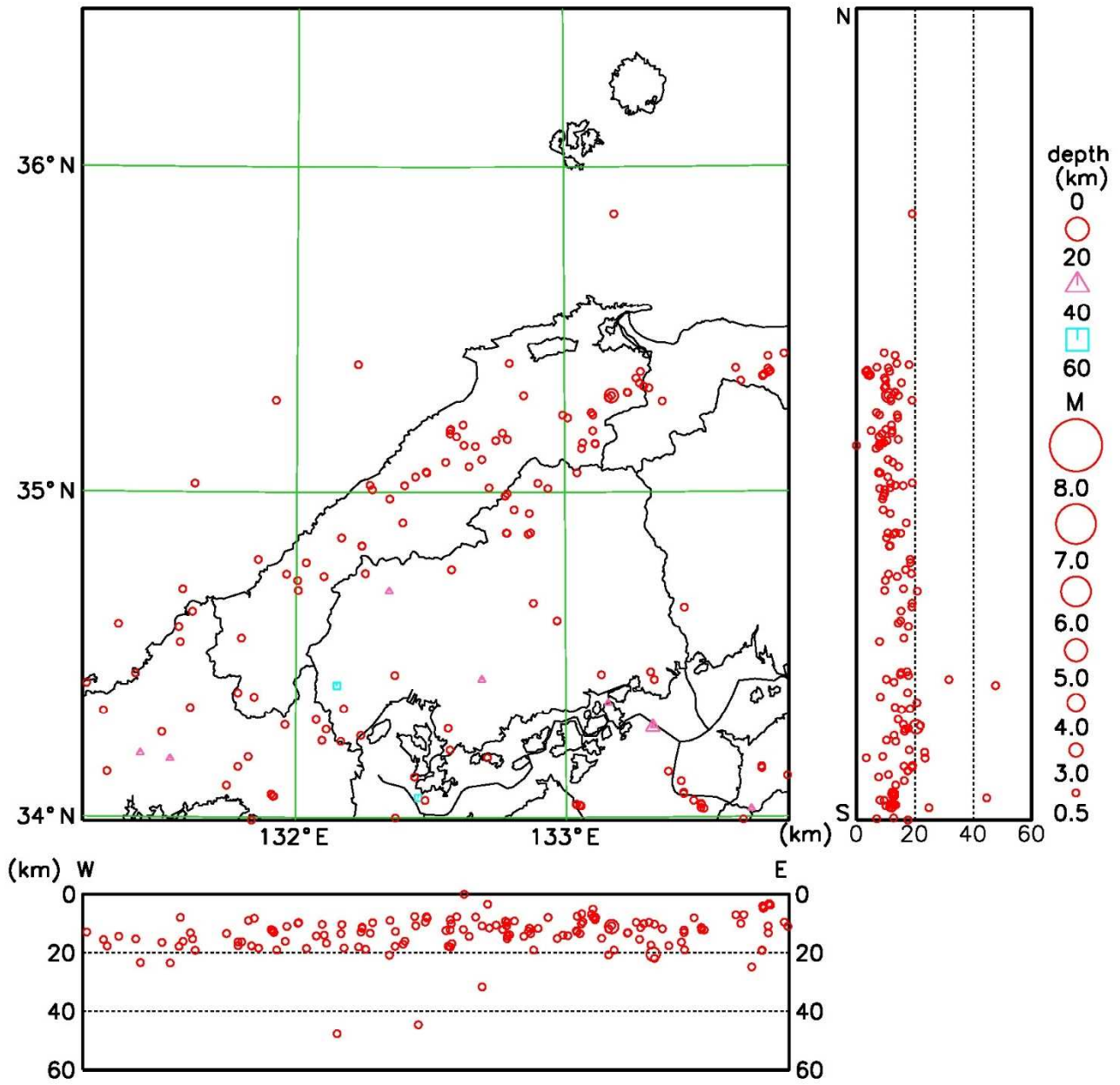
18日13時13分 島根県東部の地震（深さ11km、M3.0）により、松江市・安来市で震度1を観測しました。また、鳥取県で震度1を観測しました。

22日02時41分 島根県東部の地震（深さ14km、M2.7）により、雲南市で震度1を観測しました。

29日23時12分 瀬戸内海中部の地震（深さ20km、M3.9）により、雲南市・美郷町・川本町で震度1を観測しました。また、岡山県、広島県、香川県、愛媛県で震度2を観測したほか、中国・四国地方で震度1を観測しました。

[断面図]

2024 07 01 00:00 -- 2024 07 31 24:00



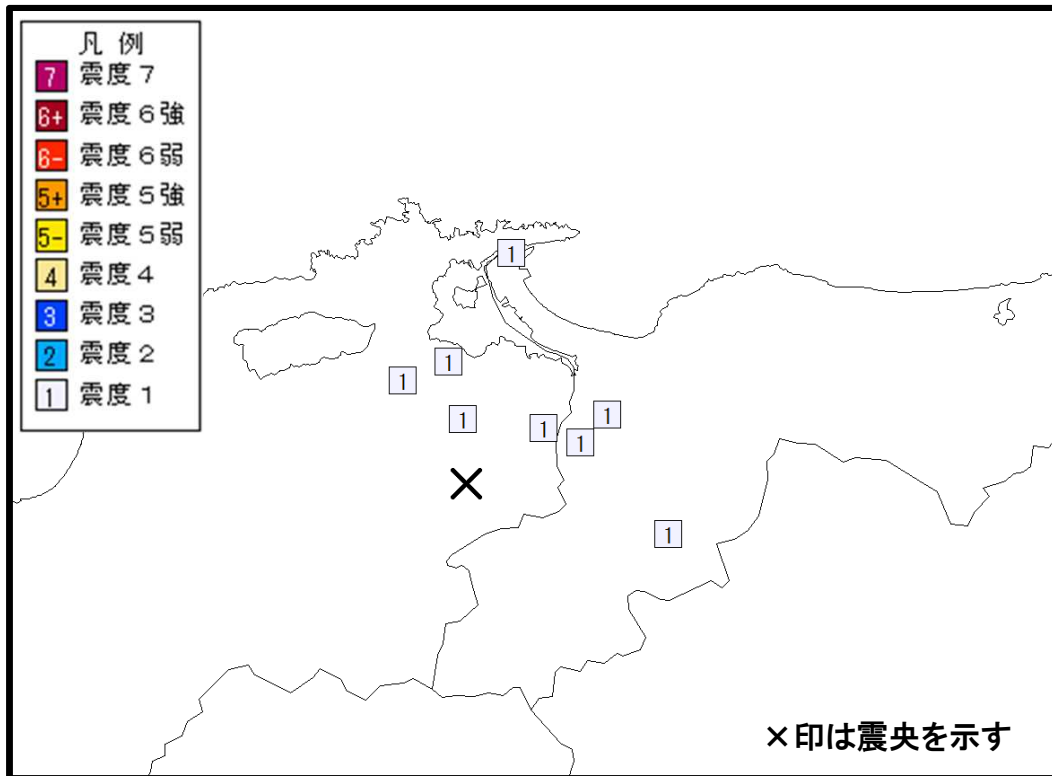
7月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2024年07月18日13時13分 ----- 地点震度 -----	島根県東部	35° 17.7' N	133° 10.5' E	11km	M3.0
島根県 震度 1 :	松江市東出雲町揖屋＊, 松江市八雲町西岩坂＊, 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁＊ 安来市伯太町東母里＊				
2024年07月22日02時41分 ----- 地点震度 -----	島根県東部	35° 14.2' N	132° 59.5' E	14km	M2.7
島根県 震度 1 :	雲南市掛合町掛合＊				
2024年07月29日23時12分 ----- 地点震度 -----	瀬戸内海中部	34° 16.5' N	133° 19.2' E	20km	M3.9
島根県 震度 1 :	雲南市大東町大東, 川本町川本＊, 島根美郷町都賀本郷＊				

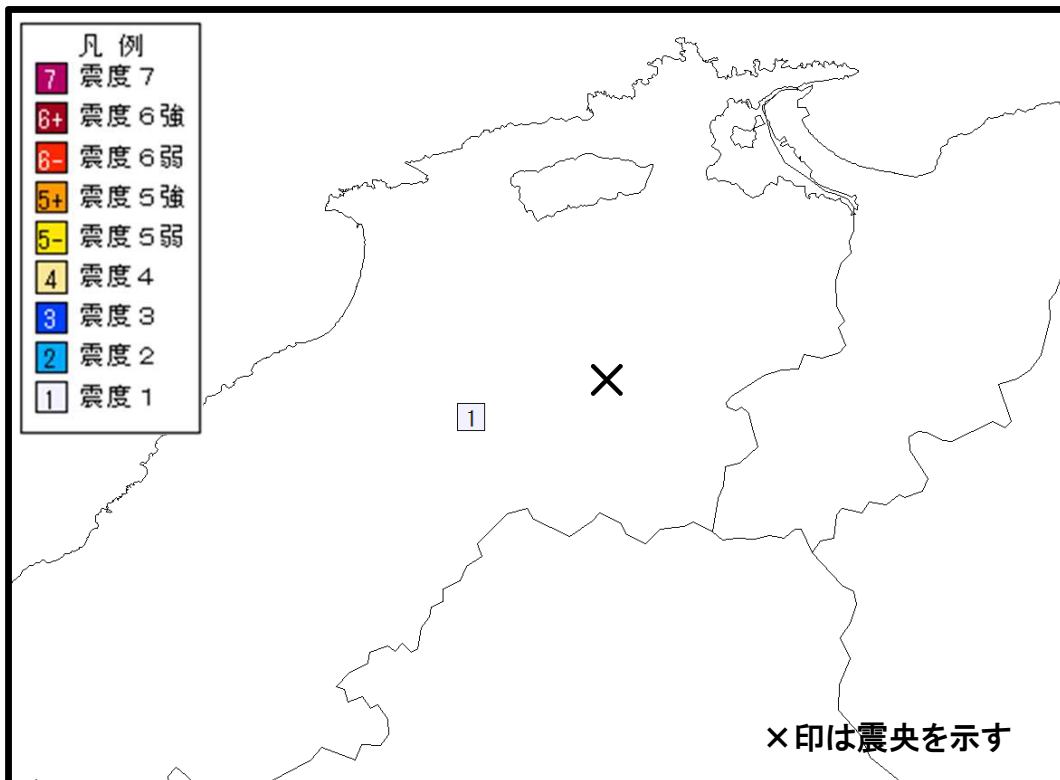
・地点名の後に＊がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【観測点震度分布図】

2024年7月18日13時13分 島根県東部

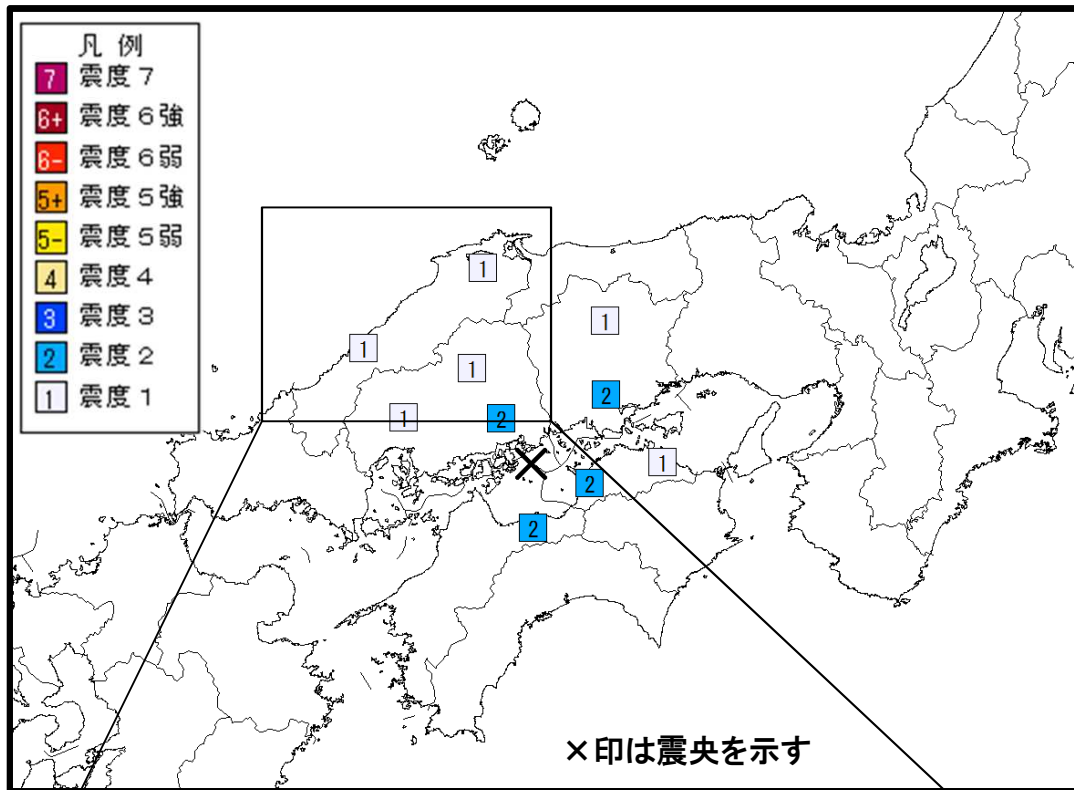


2024年7月22日02時41分 島根県東部



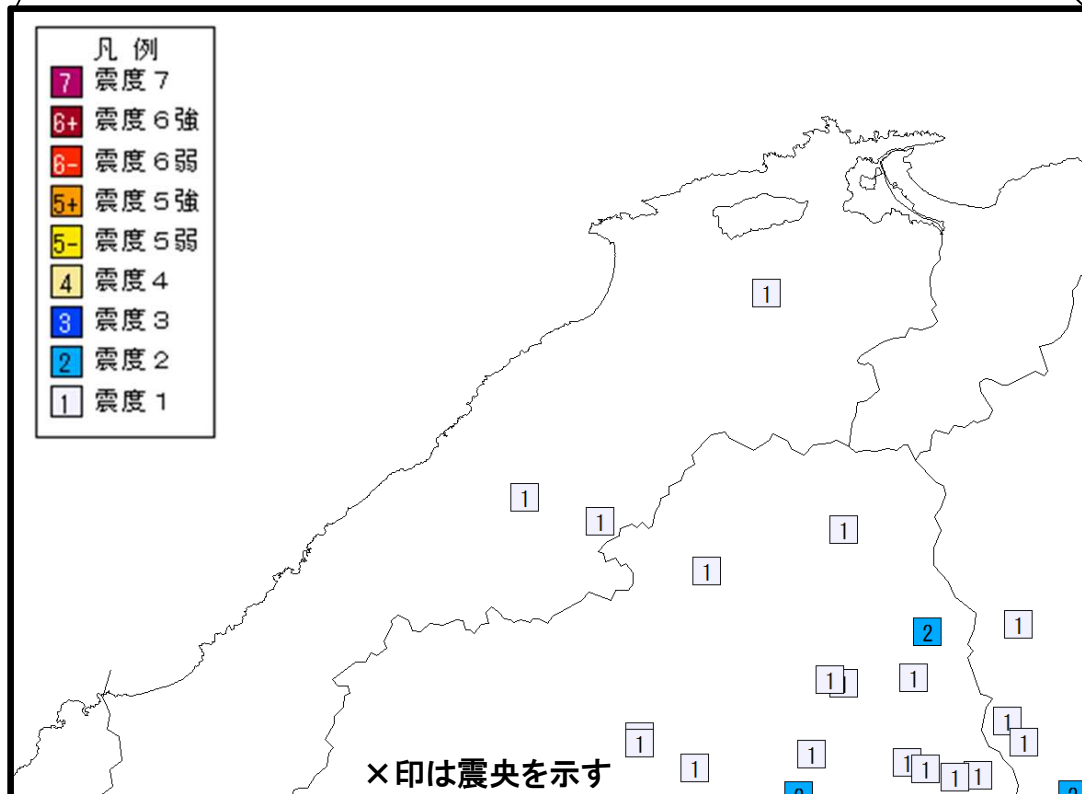
【地域震度分布図】

2024年7月29日23時12分 瀬戸内海中部



【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



地震一口メモ

南海トラフ地震臨時情報

～運用開始以来、初めて発表～

令和6年8月8日16時42分に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震の発生に伴い、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられることから、気象庁は同日19時15分に「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表するとともに、防災上の留意事項や今後の見通し等についての報道発表を行いました（右図）。

この情報は、平成29年11月に「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」として運用を開始（令和元年5月に「南海トラフ地震臨時情報」に名称等を変更）以来、初めての発表となります。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表

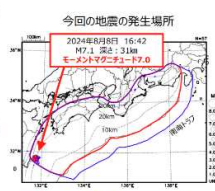
南海トラフ地震の想定震源域では、**新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっている**と考えられます

今後、もし大規模地震が発生すると、**強い揺れや高い津波を生じると**考えられます

※新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、特定の期間中に大規模地震が必ず発生することをお知らせするものではありません

政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください

8月8日報道発表資料抜粋（全文は以下 URL 参照）
https://www.jma.go.jp/jma/press/2408/08e/NT_202408081945sv.pdf



◆ 南海トラフ地震臨時情報とは

この情報は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合や、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に気象庁が発表する情報です。

情報の大まかな流れとしては、気象庁は地震等の異常な現象を観測した後、5～30分後に南海トラフ地震臨時情報（調査中）を発表し、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」（以下「評価検討会」という。）を開催する旨をお知らせします。その後、評価検討会の調査結果を受けて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」等、情報名の上にキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意、調査終了のいずれか）が付記された形で情報を発表します。

◆ 防災対応について

政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとることになります。例えば、今回のようにキーワードが「巨大地震注意」の場合には、通常の生活を送りながら、日頃からの地震への備えを再確認するなど、防災意識を一段高めましょう。

- 南海トラフ地震臨時情報の流れと防災対応が分かるリーフレットです。

「南海トラフ地震 -その時の備え-」の URL：

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>

- 南海トラフ地震臨時情報を正しく理解していただけるよう、マンガで分かりやすく解説しています。ぜひご覧ください。

「マンガで解説！南海トラフ地震その日が来たら・・・」の URL：

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html

